

精度よくpH測定を行うためのポイント

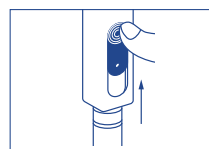
POINT 1 校正・測定前の準備



- その1 サンプルに合わせた電極を準備する
- その2 内部液が不足していたら補充・交換する
※内部液無補充型 pH 電極を除く
- その3 気泡があれば電極を振って除去する
- その4 電極が汚れていたら洗浄する



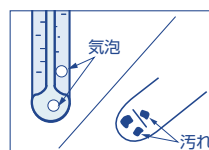
動画 (YouTube) でも詳しく解説しておるぞ〜
右の QR コードからチェックじゃ



内部液補充



pH電極
の選び方
動画



気泡除去 / 汚れ洗浄



pH電極の
メンテナンス
動画

POINT 2 校正・測定する時

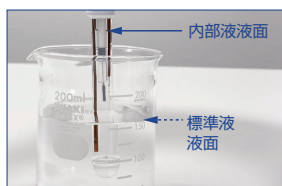
- 1 測定サンプルの pH をはさむ標準液を2液以上準備します。
測定サンプルの pH が不明な場合、pH4,7,9での校正が理想です。



- 2 内部液補充口を開け、電極を標準液に浸漬します。この時、内部液液面は標準液液面よりも高くなるようにします。



内部液補充口



内部液液面

標準液液面

- 3 標準液の温度・pH が安定※した状態で校正ボタンを押します。校正後、校正結果が下記の基準を満たすかどうかを確認します。

※弊社製品の場合。グラフ機能などを使用

不斉電位：±30mV 以内 (JIS B7960-1)
感 度：90～105% (弊社基準)
応 答 速 度：3分以内に指示値が安定する

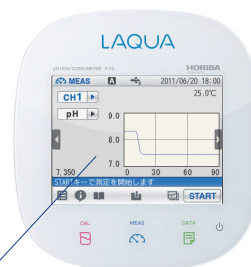
※これらの基準を満たさない場合は、内部液の交換・洗浄等のメンテナンスをおすすめします。

- 4 pH が安定してから測定を開始します。



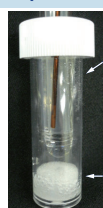
数値が安定してきたの〜
測定開始じゃ

グラフ機能が便利



POINT 3 電極を保管する時

電極保管キャップ装着時 pH 応答ガラス膜付近拡大図



湿润状態
pH 応答ガラス膜とスポンジ
は接触させず、離れた状態に
してください。

純水をしみこませた
スポンジ

電極の保管方法によっては電極の寿命を縮めることがあります。
電極保管キャップをはめて保管してください。
キャップ内の水の量は電極保管キャップのスポンジを湿らせる程度にしてください。

●製品の技術的なご相談をお受けします。 HORIBAカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-37-6045
受付時間/9:00～12:00、13:00～17:00 [祝祭日を除く月曜日～金曜日]
※携帯電話・PHSからでもご利用可能です。
※一部のIP電話からご利用できない場合がございます。

pH 電極には適度な潤いを(乾燥NG)
大量の水分はNGなのじゃ

